



写真1：雪解け水で増水。2回目のアタックはここで断念しました。

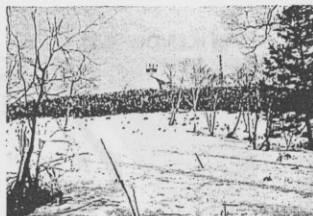


写真2：石狩市最高地点。自衛隊のレーダーが建っています。



写真3：最高地点から見た知津狩川の源流域。

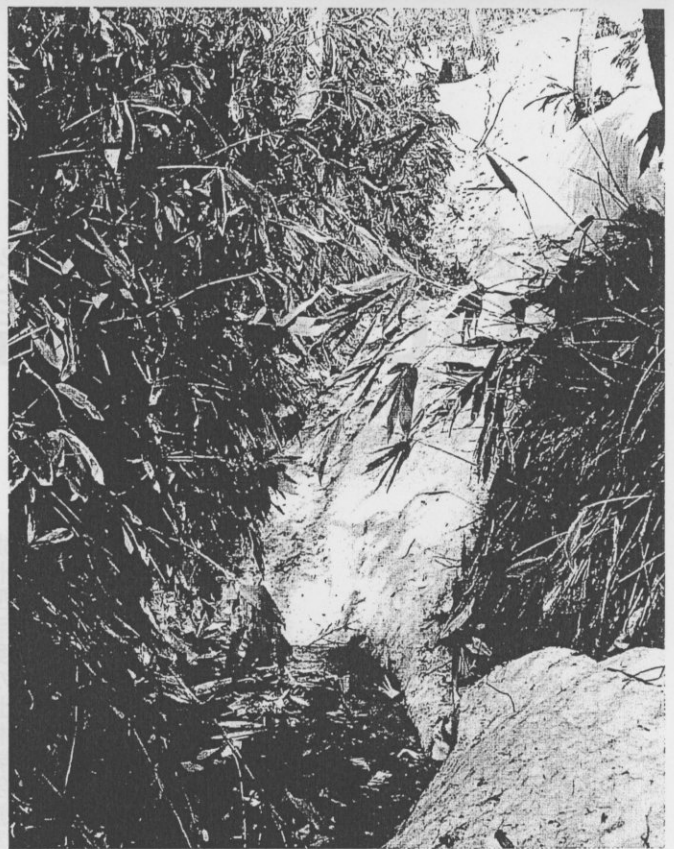


写真4：知津狩川の源流。残雪の下から水が流れ出しています。

知津狩川の 最初の一滴

歴史のドアを開けよう NATURAL HISTORY 第44回
いしかり博物誌

■文化財・博物館開設準備室
☎0133-72-6123
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

石狩市と厚田村との境界を流れ、石狩川河口部に注ぐ、知津狩川。その源流はどこにあるのか。昨秋は途中で断念した知津狩川源流調査(2002年12月号参照)。笹藪が残雪で覆われて歩きやすい4月、再アタックを敢行しました。

今回は砂防ダムの沼地に行く手を阻まれました。今回は、その上流側に回り込むため、近くの林道から緩い斜面を選んで下り、谷底にたどり着きました。しかし、またしても障害が。雪解け水で増水した川は深く、流れもかなり速かったのです。とても渡れそうにはありません。かといって、岸沿いを進むにしても、こちら側はけっこう急斜面で、無理に歩くと雪が崩れそう(写真1)。川筋をたどるのは、またしても断念！

戻って地形図をよく見ると、川の北側の尾根上に林道らしきものがあることに気づきました。ちょっとずるになりますが、このルートからもっと上流に回り込むことができるのでは!?

3回目のアタック。春の陽気で残雪もかなり少なくなっています。狙ったルートは途中で笹藪の密集地帯が続きましたが、そこを突破した後は細い林道が続き、どんどん奥へ入って行けました。谷底のほうからは川の水音が聞こえてきます。やはりかなり増水しているらしく、すでに地図上では川が記されていない場所です。

やがて目の前に巨大なレーダードームが見えてきました

(写真2)。阿蘇岩山頂です。知津狩川の源流を求めて、とうとう石狩市の最北端、市内で最も標高の高い地点まで来てしまいました。地図の上で知津狩川をさかのぼり、川の記号が消えてもさらに谷筋を読み取ってたどっていくと、この石狩市最高地点近くまで到達することはわかっていました。さて、目指す方向を見ると、確かに谷がありました。「溝」と言ってもいいくらい小さな谷ですが、近寄ってみると…

そこには、水が流れていました。ちよろちよろと、半ば残雪の下に隠れていますが、間違いなく川です(写真3・4)。知津狩川最初の一滴は、石狩市最高地点から生まれていたのです。(志賀健司)



地図：3回目のアタックで、ようやく源流を発見。